

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	東山東小学校	柑本 康生
学校所在地		
〒 640 - 0303 和歌山市山東中5番地の1 tel 073(478)0052 fax 073(478)2252 e-mail higashisando@wakayama-wky.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
三谷 崇浩		教諭・6年担任
<p>[学校の概要]</p> <p>和歌山市の東南に位置する。東は、紀の市貴志川町に接し、南は、海南市に接している。地勢は、東西南北に山があり、盆地の様な形状をしている。また、山の斜面を利用して、みかんを初めとする果樹園や竹の子栽培のための竹林が広がり、平地は、水田が広がる田園風景がある一方、幹線道路沿いには、新興住宅が建ち並ぶ。歴史的遺産には、西に熊野古道、伊太祁曾神社があり、中央部には、足守神社がある。小学校は、児童数166名の小規模校である。子どもの多くは、2世代～3世代が同居する大家族である。子ども達が多くの人とコミュニケーションを取ることができるよう、異世代（地域の幼稚園、老人ホーム）、異文化（外国人）の方と積極的に交流してコミュニケーション力を高めている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 25名	2名 職員 2名	本校・高野山
実践研究テーマ		
世界遺産・熊野古道を学び、郷土の良さを知る。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	私たちの町を通る熊野古道 ～高野山を訪ねて～	
[キーワード] 熊野古道 ・ 世界遺産 ・ 高野山 ・ 伊太祁曾神社		
<p>[単元目標]</p> <p>① 地域の歴史を調べることができる。 ② 地域の歴史遺産と世界遺産の関係を知る。 ③ 地域の良さを広めよう。</p>		
<p>[学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）]</p> <p>全体 20時間 （「地域の歴史遺産と世界遺産の関係を知ろう」 6時間 ）</p>		
<p>[地域および文化財管理者等との連携の実施状況]</p> <p>・和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産入門 現地学習 ・和歌山県世界遺産マスター</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	地域に歴史的遺産はないだろうか。 ・歴史遺産とは ・どんな歴史遺産があるのだろうか。	・地域の歴史的遺産には、どんな物があるか インターネットや家庭で聞いてきたことを基に話し合いをさせる。	・発言・誌面点検
2	・熊野古道について調べよう。 ・地域を通る熊野古道が世界遺産であることを知る。	・社会の副読本（ひらけゆく和歌山）やインターネットを利用して調べさせる。 ・世界遺産についてインターネットを利用して調べさせる。	・発言・誌面点検
3	・高野山について調べよう。	・高野山に関するビデオを視聴し、教師が作成したクイズをさせる。	・発言・誌面点検
4	・世界遺産を感じよう。 ・高野山の素晴らしさを知ろう。	・世界遺産について話を聞いたり、高野山の歴史的遺産を見学したりして、高野山の素晴らしさを感じ取らせる。	・発言・誌面点検
5	・伊太祁曽神社についてインターネットで調べたり、神社の方にインタビューして神社の歴史を知ったり、神社の祭りに参加したりする。	・神社の祭りには、地域の人々の深い願いがあることを感じ取らせる。	・発言・誌面点検
〔单元学習の成果と課題〕			
・地域学習の中で、熊野古道と高野山が中心的な課題になった。その中で地域を通っている熊野古道が世界遺産に含まれていることを知り、子ども達の興味が世界遺産に繋がった。また、高野山で実際に自分の目を通して学んだことは深く心に残り、高野山がより身近な存在に感じる様になったと思われる。今後、昔の人の生活や息づかいを感じるには、より体験的に熊野古道を歩くなどして、時間をかけて学習すべきであろうと考える。			
〔世界遺産学習の効果〕			
・地域に世界遺産の熊野古道が通っているということを再認識することで、身近にある熊野古道を大切にしなければいけないという意識が芽生えた。 ・高野山をはじめとする世界遺産が和歌山県内にあり、それらを大切にしていくと共に他府県の人達に伝えたいという声上がるようになった。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
・高野山の現地学習において、歴史の学習は6年生で行うため、教科書に掲載されている人物については理解することができていた。しかし、教科書に掲載されていない他の有名な歴史上の人物や仏教上の意味を理解するのは、難しい様であった。けれど、世界遺産マスターの話の中に「今はわからなくても、大人になった時にこの経験を持って、もう一度高野山に来るとより魅力が理解できるよ。」という言葉によって、子ども達なりの納得をしながら学習を進めていくことができたように思います。			

## 様式 2

### 平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

#### ○現地学習後の児童の感想より

- ・色々な供養塔がありました。私の知っている人の供養塔もあったけれど、知らない人の方がとてもたくさんありました。もっと、色々な勉強をしてたくさんの方のことを知りたいです。
- ・世界遺産に3種類あるなんて知りませんでした。私は高野山を自然遺産だと思っていたけれど、文化遺産だと聞いて驚きました。でも、その理由を聞くと、「なるほど。そうなんだ。」と思いました。
- ・奥の院の奥に行ったときに、この先で弘法大師さんが修行をしているのかと思うととても緊張しました。色々な県や国からたくさんの人達が来ていて、和歌山県でもこんなにすごい所があるんだとあらためて思いました。高野山を色々な人に知ってもらいたいです。
- ・僕の家近くにある熊野古道がこんなにもたくさんの人達にとって大切なものだなんて知りませんでした。いつも何も思わずに歩いていたのですが、これからはもっと大切にしながら歩いていきたいと思いました。
- ・高野山には外国人がたくさん来ていました。私は家族と高野山に行ったことはないのですが、海外からでも高野山に来る人があんなにいてると思っていませんでした。こんなにも外国で有名な高野山をもっと世界の人達に知ってもらって、観光客がたくさん和歌山県に来てほしいと思います。
- ・世界遺産を選ぶときにあんなにたくさん項目があるなんて知らなかったのが、とても驚きました。
- ・世界遺産の中には、世界遺産を取消されたものがあるって聞いたので、熊野古道や高野山が取消にならないようにしていきたいです。

